

ンスキルの向上や対人交流を目的とする「2 コミュニケーション」が342プログラム(35.6%)、自己の体調や症状の自己管理を目的とする「1 症状自己管理」が288プログラム(30.0%)、作業能率や作業能力の向上を目的とする「4 集中力」が201プログラム(20.9%)、リラックス法や心身のバランスを目的とする「6 リラクゼーション」が144プログラム(15.0%)、運動不足解消や体力向上を目的とする「7 基礎体力」が131プログラム(13.6%)、非言語的表現や情操面を目的とする「8 感情表現」が121プログラム(12.6%)、自主性や動機付けを目的とする「5 モチベーション」が107プログラム(11.1%)であった。

昨年度調査<sup>5)</sup>と比較すると昨年度2位の「1 症状自己管理」が本年度3位となり、昨年度3位の「2 コミュニケーション」が本年度2位と入れ替わったが、これは一昨年度4)と同じ順位であった(表50)。

#### プログラムの実施形態ごとの目的、実施期間と時間

プログラムの実施の形態と目的との関連性を見るために、実施形態ごとの目的区分の選択度、実施時期、実施時間を調べた。

実施形態「①個人プログラム」では、最も多く選択された目的区分として「4 集中力」が117プログラム(84.2%)であり、次いで「3 自己洞察」が36プログラム(25.9%)、「5 モチベーション」が33プログラム(23.7%)、「1 症状自己管理」が18プログラム(12.9%)であった。「①個人プログラム」の実施時期は、導入期(開始1カ月以内)が134プログラム(96.4%)、中期(開始2カ月目以降)が133プログラム(95.7%)、後期(終了1カ月以内)が134プログラム(96.4%)であり、各時期を通してほとんどの施設で実施していた。それぞれの1週間あたりの実施時間は導入期が171.5分(SD224.3)、中期が224.0分(SD288.1)、後期が

256.6分(SD339.6)であった。プログラムの実施時間はプログラム後期に向けて増加しており、前回調査<sup>5)</sup>と比較し各期とも1~2割ほど実施時間が増加していた。また他の実施形態と比較して実施時間は約2倍であった。

「②特定の心理プログラム」では、最も多く選択された目的区分として「3 自己洞察」が131プログラム(65.8%)であり、次いで「1 症状自己管理」が104プログラム(52.3%)、「2 コミュニケーション」が76プログラム(38.2%)であった。

「②特定の心理プログラム」の実施時期は、導入期が184プログラム(92.5%)、中期が190プログラム(95.5%)、後期が185プログラム(93.0%)であり、1週間あたりの実施時間は導入期が75.9分(SD82.3)、中期が111.9分(SD80.1)、後期が115.8分(SD82.6)であった。導入期に実施するプログラム数は昨年<sup>5)</sup>と比べ3割ほど増加したが実施時間は逆に37分ほど短縮した。

「③教育プログラム」において最も多く選択された目的区分は「1 症状自己管理」で108プログラム(86.4%)、次いで「3 自己洞察」が77プログラム(61.6%)、「2 コミュニケーション」が11プログラム(8.8%)であった。

「③教育プログラム」の実施時期は、導入期が121プログラム(96.8%)、中期が117プログラム(93.6%)、後期が113プログラム(90.4%)であり、1週間あたりの実施時間は導入期が77.9分(SD68.3)、中期が84.7分(SD59.6)、後期が76.9分(SD62.7)であった。実施時期のいずれにおいても昨年より12%ほどプログラム数が増加しているが、実施している時間はいずれの時期においても昨年<sup>5)</sup>より12分ほど減少しており、他区分と比較しても最も短かった。

「④集団プログラム」において最も多く選択された目的区分は、「2 コミュニケーション」が208プログラム(70.7%)であり、次いで「3

自己洞察」が76プログラム（25.9%）、「3集中力」が52プログラム（17.7%）であった。

「④集団プログラム」の実施時期は、導入期が279プログラム（94.9%）、中期が285プログラム（96.9%）、後期が281プログラム（95.6%）であり、1週間あたりの実施時間は導入期が76.1分（SD77.5）、中期が115.1分（SD91.6）、後期が119.7分（SD90.5）であった。実施時期のいずれにおいても他区分と比較し最も長く実施されていた。昨年度調査<sup>5)</sup>と比較すると、実施時期は各期とも増加し特に導入期で15.0%増加しているが、実施時間は逆に各期とも短くなっており特に導入期が38.7分短くなっていた。

「⑤その他のプログラム」で最も多く選択された目的区分は、「6リラクゼーション」で90プログラム（44.3%）であり、次いで「7基礎体力」88プログラム（43.3%）、「2コミュニケーション」38プログラム（18.7%）であった。

「⑤その他のプログラム」の実施時期は、導入期が199プログラム（98.1%）、中期が201プログラム（89.0%）、後期が198プログラム（97.5%）であり、1週間あたりの実施時間は導入期が83.6分（SD82.9）、中期が102.8分（SD85.3）、後期が102.9分（86.9）であった。プログラムの内容に幅があるため目的は分散しているが、プログラムの実施時期からみるといずれの時期においてもほとんどすべてのプログラムが実施されていた（表51、52）。

#### 医療機関ごとのリワークプログラムの実施の実態

今回の調査では100施設より960プログラムの有効回答があったが、実施形態ごとにみると、「①個人プログラム」に該当するプログラムを実施している医療機関は83施設（85.6%）で昨年度調査<sup>5)</sup>時の割合より1.9%増加していた。「②特定の心理プログラム」に該当するプログラムを実施している医療機関は81施設（83.5%）で

昨年度調査<sup>5)</sup>時の割合より3.1%減少していた。

「③教育プログラム」に該当するプログラムを実施している医療機関は77施設（79.4%）で昨年度調査<sup>5)</sup>時の割合より8.2%増加していた。「④集団プログラム」に該当するプログラムを実施している医療機関は89施設（91.8%）で昨年度調査時の割合より7.2%増加していた。「⑤その他のプログラム」に該当するプログラムを実施している医療機関は71施設（73.2%）で昨年度調査<sup>5)</sup>時の割合より6.6%減少していた。

医療機関ごとに実施しているプログラムの実施形態を集計してみると、5区分の実施形態のうち、5区分すべてに該当するプログラムを行っている医療機関は46施設（47.4%）であり、4実施区分に該当している医療機関は30施設（30.9%）で全体の8割弱を占め、昨年度調査<sup>5)</sup>時の割合と比較すると2.4%増加した。また、3実施区分に該当している医療機関は12ヶ所（12.4%）、2実施区分に該当している医療機関は6ヶ所（6.2%）、1実施区分に該当している医療機関は3ヶ所（3.1%）であった（表53）。

標準的な像としては、実施形態として4ないし5つの実施区分を網羅するプログラムを10種類ほど揃え、週5日実施する中で、時間としては個人プログラム、プログラム数としては集団プログラムについて重点的に配分したスケジュールで実施していると言えるだろう。

#### F. 登録者の利用状況に関する調査

平成25年10月1日から7日の7日間にわたり、プログラムを実施している施設において、その日にデイケア、ショートケア、デイナイトケア、ナイトケア、精神科作業療法、集団通院精神療法、または自費参加によるプログラムに登録されている方、および登録制度がない場合はこの期間中に参加した方、について調査を実施し121施設から2,246人の登録者等の調査票を回収した。

## 利用者背景

利用者の性別は、男性1,677人(74.7%)、女性569人(25.3%)であった。平均年齢は男性40.7歳(SD8.6)、女性36.6歳(SD8.8)、全体39.7歳(SD8.8)であり、最年少は16歳、最年長は66歳であった。

就業状況は休業中1,646人(73.8%)で前回調査<sup>5)</sup>より3.3%増加、失職中295人(13.2%)で前回<sup>5)</sup>より2.3%減少、就労中236人(10.6%)で0.5%減少、未就労53人(2.4%)で0.1%増加であった。婚姻状況は未婚1,284人(57.6%)、既婚946人(42.4%)であった(表53, 54, 58, 59)。

休業の状態に関しては、本調査における“休業”の定義を精神疾患等の理由により一定期間以上会社を休んでいる状態とし、休業期間に関しては、1カ月を30日に換算し、利用者から得られる情報をもとに記入を依頼した。平均休業回数は全体で1.97回(SD1.4)であった。総休業期間は平均594.4日(SD543)で前回調査<sup>5)</sup>より22.3日増加した(表66, 67)。

利用状況は、初回利用者が1,905人(85.4%)、再利用者325人(14.6%)であった。利用予定日数は、1週間当たり平均3.67日であった。主治医が自院である利用者は1,607人(71.8%)、他院が631人(28.2%)であった。今回のプログラムへの参加開始日は、調査年度である2013年が1,721人(78.0%)で最も多く、その前年2012年は351人(15.9%)、2011年は95人(4.3%)であった(表60, 62-64)。

## 診断別の利用者数(表55)

利用者のICD-10による診断の内訳は、F3気分(感情)障害が1,751人(79.0%)、F4神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害301人(13.6%)、F2統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害74人(3.3%)、F8心理的発達の障害34人(1.5%)、F6成人のパーソナリティおよび行動の障害23人(1.0%)、F1精神作用物質使用による精神お

よび行動の障害16人(0.7%)、F5生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群6人(0.3%)、F0症状性を含む器質性精神障害4人(0.2%)、F9小児期および青年期に通常発達する行動及び情緒の障害4人(0.2%)、F7精神遅滞[知的障害]3人(0.1%)であった。また、DSM-IV TRによる「双極Ⅱ型」の可能性のある利用者は659人(29.5%)であった。また、「発達障害」の可能性のある利用者は467人(20.9%)であった。

これまでに実施した調査と比較すると、平成20年7月に実施した調査<sup>1)</sup>では1ヶ月の対象期間における登録者数は593人、平成22年10月に実施した調査<sup>2)</sup>では任意の1日における登録者数は700人、平成23年10月<sup>3)</sup>の7日間の登録者数は1,417人、平成24年10月<sup>4)</sup>の7日間の登録者数は1,827人、今回平成25年10月の7日間の登録者数は2,246人と着実に増加していることが判明した。また平成23年度の精神保健福祉資料<sup>6)</sup>によると6月の1日間のデイケア等の利用者数は49,104人であったため、精神科デイケア等全体に占めるリワークの割合は4.6%であった。

利用者の診断について前回調査<sup>5)</sup>と割合を比較すると減少はF2統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害-2.2%、F4神経症性障害-0.3%、F7精神遅滞[知的障害]とF8心理的発達の障害、F9小児期及び青年期に通常発生する行動及び情緒の障害は-0.1%、であり、増加はF3気分(感情)障害2.3%、F6成人のパーソナリティおよび行動の障害0.2%、F1精神作用物質使用による精神および行動の障害0.1%、であった。

DSM-IV TRによる「双極Ⅱ型」の可能性のある利用者の割合については1.8%増加し29.5%であった。今回初めてDSM-IV TRによる「発達障害」の可能性のある利用者の割合について調査したところ「あり」が20.9%とのことであった。また疾患分類について精神科デ

イケア等全体と比較したところ、平成23年度の精神保健福祉資料<sup>6)</sup>によると6月の1日間のデイケア等利用者の疾患として最も多いF2統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害の割合は66.8%であり3.3%のリワークの約20倍多く、次に多いF3気分（感情）障害は14.0%のため79.0%のリワークの1/5ほどであった。F4神経症性障害は3.6%のため13.6%のリワークの1/4であった。

#### G. まとめ

1. リワーク研究会所属の施設と利用者を対象とし、プログラムの実施状況を調査したところ、診療報酬区分としては精神科デイケアを中心に精神科ショートケアを組み合わせで運営している医療機関が多いことが判明した。
2. 123施設で合計722名のスタッフが勤務し昨年より144人増加した。臨床心理士が最も多く全体の3割を占め、看護師が2割強、精神保健福祉士が2割、作業療法士が1割であった。
3. 復職時の勤務先企業の産業医・産業保健スタッフに対する連絡・調整は、書面が最も多く7割、診察時が3割強、訪問が2割弱を占めていた。人事労務担当者に対しての連絡・調整は、書面が5割、診察が4割であった。昨年と比較して産業医・産業保健スタッフとは書面、人事労務担当者とは診察時の割合が増加していた。
4. 開始時の標準的な1週間のプログラムの延時間は、平均11.0時間であった。また終了時の標準的な1週間のプログラムの延時間は、平均24.9時間であった。
5. 復職後のフォローは外来診療が最も多く8割であった。また復職後のフォローアッププログラムを実施している施設は54%であった。

6. プログラムの内容に関し実施形態により5区分に分類したところ「集団プログラム」が3割、「その他のプログラム」と「特定の心理プログラム」が2割であった。医療機関ごとにみると5区分すべてに該当するプログラムを実施している医療機関は47%、4区分に該当している医療機関は31%であり、昨年より2.4%増加した。
7. 今回の調査では、平成25年10月の7日間に登録されていた利用者2,246人について個別調査も実施した。休業回数は平均2.0回、総休業期間は平均594日で昨年より22日増加し、昨年同様頻回かつ長期間の休職状態にある利用者が多いことが判明した。また、DSM-IV TRによる双極II型の可能性がある利用者は30%で昨年とほぼ同率であった。また今回よりDSM-IV TRによる発達障害の可能性がある利用者について聞いたところ21%であった。近年の傾向として診断としても双極性障害や発達障害の可能性を持つ利用者が多く、難治性の気分障害が対象となっていることが改めて浮き彫りとなった。

#### H. 結論

これまで6年間にわたり基礎調査を行ってきた。調査対象施設が著しく増加してきたためか回収率は前年と比べ3.4%回収率が下落した。

プログラムに関しては集団プログラムを中心とするプログラム内容の充実やフォローアッププログラムの定着が示された。

利用者に対する大規模な調査を行ったが、休職回数も多く、また、休職期間も長い利用者がプログラムを利用している現実が明らかとなり、双極性障害を疑う症例も3割、発達障害を疑う症例も2割いることも示され、今後の課題が浮き彫りされた。

## I. 健康危険情報

なし

## J. 研究発表

### 1. 論文発表

- 1) 五十嵐良雄、飯島洋子、大木洋子、林俊秀、福島南：うつ病などを対象としたリワークプログラム、カレントセラピー、2014（印刷中）。
- 2) 林俊秀、五十嵐良雄、うつ病リワーク研究会の現状～現在までの成果～、Depression Fronteer, 11(2):69-78、2013.
- 3) 五十嵐良雄、リワークプログラムからみた職場のメンタルヘルス、臨床精神医学、42(10):1265-1271,2013.
- 4) 五十嵐良雄：安全な復職（リワーク）のための支援とは、精神医学、55(8):715-718,2013.
- 5) 五十嵐良雄：気分障害の復職支援、日本医事新報、4643:30-36、2013.

### 2. 学会発表

なし

## K. 知的財産権の出願・登録状況

なし

## L. 文献

- 1) 五十嵐良雄、リワークプログラムの実施状況に関する調査、厚生労働科学研究こころの健康科学研究事業（リワークプログラムを中心とするうつ病の早期発見から職場復帰に至る包括的治療法に関する研究）平成20年度総括分担研究報告書：43-91、2009.
- 2) 五十嵐良雄、全国におけるリワークプログラムの実施状況に関する研究、厚生労働科学研究こころの健康科学研究事業（リワークプログラムを中心とするうつ病の早期発

見から職場復帰に至る包括的治療法に関する研究）平成21年度総括分担研究報告書：85-100、2010.

- 3) 五十嵐良雄、全国におけるリワークプログラムの実施状況と利用者に関する調査研究、厚生労働科学研究障害者対策総合研究事業（リワークプログラムを中心とするうつ病の早期発見から職場復帰に至る包括的治療法に関する研究）平成22年度総括分担研究報告書：49-76、2011.
- 4) 五十嵐良雄、リワークプログラムの実施状況と利用者に関する調査研究、厚生労働省障害者対策総合研究事業（うつ病患者に対する復職支援体制の確立・うつ病患者に対する社会復帰プログラムに関する研究）平成23年度総括分担研究報告書：47-70、2012.
- 5) 五十嵐良雄、リワークプログラムの実施状況と利用者に関する調査研究、平成24年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業 精神障害分野）うつ病患者に対する復職支援体制の確立 うつ病患者に対する社会復帰プログラムに関する研究、117-156,2013.
- 6) 平成23年度精神保健福祉資料；厚生労働科学研究費補助金（こころの健康科学研究事業）「精神保健医療福祉の改革ビジョンの成果に関する研究」研究班

A.リワーク施設情報

質問1 リワーク施設の属する医療機関について該当する箇所1つに○を記入して下さい。

表1		n=123	
		件数	
病院	47	(38.2%)	
診療所	76	(61.8%)	
合計	123	(100.0%)	

質問2 併設する精神科入院施設がある場合、精神科病棟は何床でしょうか。(無ければ0を記入)

表2		n=47	
		件数	
0床	1	2.2%	
1~49床	3	6.5%	
50~99床	5	10.9%	
100~149床	1	2.2%	
150~199床	8	17.4%	
200~249床	9	19.6%	
250~299床	6	13.0%	
300~349床	2	4.3%	
350~399床	1	2.2%	
400床以上	10	21.7%	
合計	46	(100.0%)	
mean	253.3		
SD	153.5		

質問3 精神科病棟のうち、ストレスケア病棟は何床でしょうか。(無ければ0を記入)  
(質問2で床数が「1床以上」の施設)

表3		n=42	
		件数	
0床	26	61.9%	
2床	1	2.4%	
8床	1	2.4%	
15床	2	4.8%	
22床	1	2.4%	
30床	1	2.4%	
33床	1	2.4%	
35床	1	2.4%	
37床	1	2.4%	
47床	1	2.4%	
48床	2	4.8%	
50床	2	4.8%	
56床	1	2.4%	
154床	1	2.4%	
合計	42	(100.0%)	
mean	40.6		
SD	34.5		

質問4-1 貴院リワーク施設で最も多く診療報酬上算定しているのはどれですか。  
(複数回答)

表4		n=124	
		件数	
デイケア	83	66.9%	
ショートケア	28	22.6%	
デイナイトケア	3	2.4%	
ナイトケア	0	0.0%	
精神科作業療法	7	5.6%	
通院集団精神療法	3	2.4%	
その他	0	0.0%	

質問4-2 質問4-1の回答以外に貴院リワーク施設で最も多く診療報酬上算定しているのはどれですか。  
(複数回答)

表4-2		n=134	
		件数	
デイケア	28	20.9%	
ショートケア	72	53.7%	
デイナイトケア	9	6.7%	
ナイトケア	6	4.5%	
精神科作業療法	5	3.7%	
通院集団精神療法	11	8.2%	
その他	3	2.2%	

(その他)

- 認知機能その他の心理検査
- 初診のみ内科
- 精神科継続外来 支援・指導科

質問4-3 リワークを始めた(西暦)を記入して下さい。

表4-3		n=122	
		件数	
1997年	1	0.8%	
2003年	1	0.8%	
2004年	2	1.6%	
2005年	2	1.6%	
2006年	5	4.1%	
2007年	17	13.9%	
2008年	12	9.8%	
2009年	15	12.3%	
2010年	22	18.0%	
2011年	17	13.9%	
2012年	16	13.1%	
2013年	12	9.8%	
合計	122	(100.0%)	

質問4-4 デイケア、ショートケアを選択した場合、該当する規模を記入して下さい。  
(質問4-1又は質問4-2で「デイケア」又は「ショートケア」と答えた方)

表4-4		n=113	
		件数	
大規模	68	60.2%	
小規模	45	39.8%	
合計	113	(100.0%)	

質問4-4 リワークプログラムの1週間の開催日を記入して下さい。

開催日数(／週)

表4-5-1		n=122	
		件数	
1日		#REF!	#REF!
2日		#REF!	#REF!
3日		#REF!	#REF!
4日		#REF!	#REF!
5日		#REF!	#REF!
6日		#REF!	#REF!
7日		#REF!	#REF!
合計		#REF!	(100.0%)
mean		4.8	
SD		1.0	

(曜日)

表4-5-2		n=122	
		件数	
月		112	(91.8%)
火		111	(91.0%)
水		107	(87.7%)
木		102	(83.6%)
金		113	(92.6%)
土		37	(30.3%)
日		0	(0.0%)

質問4-6 リワーク施設の定員数を記入して下さい。

表4-6		n=116	
		件数	
1～9人		11	9.5%
10～14人		18	15.5%
15～19人		13	11.2%
20～24人		27	23.3%
25～29人		8	6.9%
30～39人		20	17.2%
40～49人		2	1.7%
50～59人		13	11.2%
60～69人		2	1.7%
70人以上		2	1.7%
合計		116	(100.0%)
mean		24.7	
SD		14.8	

質問4-6 リワーク以外の対象者受入をしていますか。

表4-7		n=121	
		件数	
している		52	43.0%
していない		69	57.0%
合計		121	(100.0%)

質問4-8 あてまはる対象をすべて選んで下さい。  
(質問4-7で「している」と答えた方)

表4-8	n=53	
	件数	
社会生活機能改善を目的とした主に統合失調症患者	32	60.4%
居場所の提供を目的とした慢性期精神疾患患者	28	52.8%
各種依存症からの回復のための利用者	10	18.9%
社会適応技術の習得を目的とした発達障害者(思春期、成人とも)	34	64.2%
社会適応技術の習得を目的とした高次機能障害者	7	13.2%
社会適応技術の習得を目的としたパーソナリティ障害者	14	26.4%
生活支援を目的とした高齢者	4	7.5%
生活支援を目的とした介護、認知症患者	1	1.9%

質問4-9 リワーク対象者とリワーク対象以外のどちらの人数が多いですか。  
(質問4-7で「している」と答えた方)

表4-9	n=56	
	件数	
リワーク対象者	28	50.0%
リワーク対象者以外	28	50.0%
合計	56	(100.0%)

質問4-10 リワーク対象者とリワーク対象者以外の参加者に対し、一緒に実施するプログラムの有無について記入して下さい。

表4-10	n=125	
	件数	
有	57	45.6%
無	68	54.4%
合計	125	(100.0%)

質問4-11 リワーク施設において医療専門職の実習や研修を受け入れられますか

表4-11	n=125	
	件数	
受け入れ可	65	52.0%
受け入れ不可	60	48.0%
合計	125	(100.0%)

B. リワークに関わるスタッフ情報

質問5 全スタッフが1日の利用者全員分の個別記録を作成するために要する時間(分)を記入して下さい。

(1日当たりの所要時間)  
(分/月)

表5 n=122

	件数	
30分未満	6	4.9%
30分以上 60分未満	26	21.3%
60分以上 90分未満	22	18.0%
90分以上 120分未満	16	13.1%
120分以上 180分未満	23	18.9%
180分以上 240分未満	12	9.8%
240分以上 360分未満	10	8.2%
360分以上	7	5.7%
合計	122	(100.0%)
mean	129.2	
SD	139.1	

質問6 利用者1名の診療記録を作成するために要する時間(分)と作成回数(頻度)を記入して下さい。

(1名当たりの所要時間)

表6-1 n=124

	件数	
0分	14	11.3%
1分	1	0.8%
5分	1	0.8%
10分	13	10.5%
15分	9	7.3%
20分	11	8.9%
30分	38	30.6%
40分	3	2.4%
45分	3	2.4%
60分	23	18.5%
90分	2	1.6%
100分	1	0.8%
120分	4	3.2%
240分	1	0.8%
合計	124	(100.0%)
mean	34.4	
SD	32.5	

(1ヶ月当たりの作成回数)  
(回/月)

表6-2 n=125

	件数	
0回	21	16.8%
0.3回	2	1.6%
0.4回	1	0.8%
0.5回	3	2.4%
1回	63	50.4%
2回	14	11.2%
3回	5	4.0%
4回	8	6.4%
5回	2	1.6%
6回	1	0.8%
8回	1	0.8%
10回	2	1.6%
16回	1	0.8%
30回	1	0.8%
合計	125	(100.0%)
mean	1.8	
SD	3.3	

質問7 毎日定例の打ち合わせ・業務連絡以外のスタッフミーティングに関し、実施頻度と実施時間をお答えください。

実施頻度(1ヶ月間の実施回数、実施していない場合は0)  
(回/月)

表7-1 n=125

	件数	
0回	19	15.2%
0.3回	1	0.8%
0.5回	2	1.6%
1回	24	19.2%
2回	21	16.8%
3回	5	4.0%
4回	25	20.0%
5回	5	4.0%
6回	1	0.8%
8回	6	4.8%
9回	1	0.8%
10回	2	1.6%
15回	4	3.2%
16回	3	2.4%
20回	5	4.0%
80回	1	0.8%
合計	125	(100.0%)
mean	4.6	
SD	8.4	

(1回あたりの所要時間:分)  
(実施回数を「0回」と答えた方を除く)

表7-2 n=107

	件数	
1分	1	0.9%
10分	3	2.8%
15分	5	4.7%
20分	4	3.7%
30分	25	23.4%
40分	5	4.7%
45分	5	4.7%
60分	33	30.8%
70分	1	0.9%
90分	12	11.2%
120分	8	7.5%
180分	2	1.9%
240分	1	0.9%
250分	1	0.9%
300分	1	0.9%
合計	107	(100.0%)
mean	61.7	
SD	48.3	

質問8 ケースカンファレンスに関し、実施頻度と実施時間、参加者内訳をお答えください。

実施頻度(1ヶ月間の実施回数、実施していない場合は0)  
(回/月)

表8-1 n=125

	件数	
0回	32	25.6%
0.3回	1	0.8%
0.5回	4	3.2%
1回	27	21.6%
2回	20	16.0%
3回	4	3.2%
4回	19	15.2%
5回	4	3.2%
6回	1	0.8%
8回	2	1.6%
10回	2	1.6%
12回	1	0.8%
15回	2	1.6%
16回	2	1.6%
20回	3	2.4%
30回	1	0.8%
合計	125	(100.0%)
mean	3.1	
SD	4.9	

(1回あたりの所要時間:分)  
(実施回数を「0回」と答えた方を除く)

表8-2 n=96

	件数	
5分	1	1.0%
10分	6	6.3%
15分	3	3.1%
20分	11	11.5%
30分	20	20.8%
40分	1	1.0%
45分	2	0.0%
50分	3	0.0%
60分	30	31.3%
70分	1	1.0%
75分	1	1.0%
90分	8	8.3%
120分	7	7.3%
180分	2	2.1%
合計	96	(100.0%)
mean	52.9	
SD	35.2	

(実施回数を「0回」と答えた方を除く)  
(参加者内訳)

表8-3 n=101

	件数	
スタッフのみ	25	24.8%
医師も参加	76	75.2%
合計	101	(100.0%)

質問9 リワークに関わる全スタッフ数

表9		n=123
	件数	
1人	3	(2.4%)
2人	8	(6.5%)
3人	15	(12.2%)
4人	26	(21.1%)
5人	16	(13.0%)
6人	21	(17.1%)
7人	11	(8.9%)
8人	8	(6.5%)
9人	4	(3.3%)
11人	1	(0.8%)
12人	3	(2.4%)
13人	2	(1.6%)
14人	2	(1.6%)
21人	1	(0.8%)
24人	1	(0.8%)
25人	1	(0.8%)
合計	123	(100.0%)
mean	7.7	

質問9-1 リワークに関わる全スタッフに関し、取得している主な資格について該当する番号をひとつ記入して下さい。

表9-1		n=722
	件数	
看護師	164	(22.7%)
保健師	8	(1.1%)
精神保健福祉士	154	(21.3%)
作業療法士	91	(12.6%)
理学療法士	1	(0.1%)
臨床心理士	202	(28.0%)
その他の心理職	42	(5.8%)
産業カウンセラー	8	(1.1%)
キャリアコンサルタント	2	(0.3%)
その他	48	(6.6%)
無回答	2	(0.3%)
合計	722	(100.0%)

質問9-2 リワークに関わる全スタッフに関し、取得している主な資格以外について該当する番号すべて記入して下さい。

(副資格の有無)

表9-2-1		n=722
	件数	
あり	175	(24.2%)
なし	547	(75.8%)
合計	722	(100.0%)

(副資格ありの方)

表9-2-2		n=175
	件数	
看護師	13	(7.4%)
保健師	15	(8.6%)
精神保健福祉士	30	(17.1%)
作業療法士	7	(4.0%)
理学療法士	3	(1.7%)
心療心理士	13	(7.4%)
その他の心理職	11	(6.3%)
産業カウンセラー	34	(19.4%)
キャリアコンサルタント	17	(9.7%)
その他	77	(44.0%)

質問9-3 リワークに関わる全スタッフの性別

表9-3		n=714	
		件数	
男性		217	30.4%
女性		497	69.6%
合計		714	(100.0%)

質問9-4 リワークに関わる全スタッフの記入日現在の年齢

表9-4		n=722	
		件数	
24才以下		38	5.3%
25～29才		140	19.4%
30～34才		146	20.2%
35～39才		131	18.1%
40～44才		87	12.0%
45～49才		80	11.1%
50～54才		49	6.8%
55～59才		22	3.0%
60～64才		18	2.5%
65～69才		6	0.8%
70才以上		5	0.7%
合計		722	(100.0%)
mean		38.2	
SD		10.2	

質問9-5 リワークに関わる全スタッフの勤務形態

表9-5		n=721	
		件数	
常勤		482	66.9%
非常勤		239	33.1%
合計		721	(100.0%)

質問9-6 リワークに関わる全スタッフに関し、非常勤の場合の勤務日数(質問9-5で「非常勤」と答えた方)

勤務日数(日/週)

表9-6		n=311	
		件数	
0.3日		1	0.3%
0.5日		6	1.9%
1日		79	25.4%
1.5日		3	1.0%
2日		43	13.8%
3日		21	6.8%
4日		33	10.6%
4.5日		3	1.0%
5日		115	37.0%
6日		7	2.3%
合計		311	(100.0%)
mean		3.2	
SD		1.8	

質問9-7 リワークに関わる全スタッフに関し、非常勤の場合の勤務時間(質問9-5で「非常勤」と答えた方)

勤務時間(時間/週)

		n=721	
		件数	
5時間未満	503	69.8%	
5～9時間	71	9.8%	
10～14時間	21	2.9%	
15～19時間	29	4.0%	
20～24時間	23	3.2%	
25～29時間	6	0.8%	
30～34時間	26	3.6%	
35～39時間	1	0.1%	
40時間以上	41	5.7%	
合計	721	(100.0%)	
mean	18.5		
SD	22.8		

質問9-8 リワークに関わる全スタッフに関し、主な資格・職種としての経験年数

		n=694	
		件数	
1年未満	48	6.9%	
1年以上～2年未満	32	4.6%	
2年以上～3年未満	44	6.3%	
3年以上～4年未満	54	7.8%	
4年以上～5年未満	41	5.9%	
5年以上～6年未満	56	8.1%	
6年以上～7年未満	45	6.5%	
7年以上～8年未満	43	6.2%	
8年以上～9年未満	34	4.9%	
9年以上～10年未満	29	4.2%	
10年以上～15年未満	122	17.6%	
15年以上～20年未満	55	7.9%	
20年以上～25年未満	51	7.3%	
25年以上～30年未満	29	4.2%	
30年以上	11	1.6%	
合計	694	(100.0%)	
mean	11.0		
SD	9.2		

質問9-9 リワークに関わる全スタッフに関し、リワーク・プログラムの経験年数

		n=716	
		件数	
1年未満	19	2.7%	
1年以上～2年未満	176	24.6%	
2年以上～3年未満	176	24.6%	
3年以上～4年未満	133	18.6%	
4年以上～5年未満	66	9.2%	
5年以上～6年未満	83	11.6%	
6年以上～7年未満	26	3.6%	
7年以上～8年未満	17	2.4%	
8年以上～9年未満	12	1.7%	
9年以上～10年未満	2	0.3%	
10年以上	6	0.8%	
合計	716	(100.0%)	
mean	2.9		
SD	1.9		

質問9-10 企業での就労経験について

		n=686	
		件数	
無し	479	69.8%	
産業保健スタッフとして就労	43	6.3%	
産業保健スタッフ以外	150	21.9%	
産業保健スタッフ、産業保健スタッフ以外の両方	14	2.0%	
合計	686	(100.0%)	

C. リワーク・プログラムの利用開始について

質問10 利用の最終の決定について最も適するもの1つに○を記入して下さい。

表10	n=125	
	件数	
主治医が決める	51	(40.8%)
院長などの管理者が決める	14	(11.2%)
担当医が決める	25	(20.0%)
会議で決める	34	(27.2%)
その他	1	(80.0%)
合計	125	(100.0%)

(その他)

○当院の診察した医師

質問11 利用の決定にあたり最も重要なポイントを1つ選択し○を記入して下さい。

表11-1	n=121	
	件数	
(症状について)規則的な睡眠リズムが回復している	9	7.4%
(症状について)精神症状・身体症状が安定している	58	47.9%
(症状について)通所できる体力が回復している	18	14.9%
(生活レベルについて)外出できる日が一定日ある	3	2.5%
プログラム参加へのモチベーションがある	30	24.8%
その他	3	2.5%
合計	121	(100.0%)

(その他)

○昼間6時間デイケアで過ごせる状態(週2回)

○復職の意思がある

○医師のすすめ

(外出できる日)

表11-2	n=3	
	件数	
週3日以上	2	(66.7%)
週5日以上	1	(33.3%)
合計	3	(100.0%)

質問12 プログラム受け入れの条件は決めていますか。

表12	n=125	
	件数	
決めている	106	84.8%
決めていない	16	12.8%
合計	125	(100.0%)

質問13 プログラム受け入れにおいて本人の症状による条件を定めていますか。  
 (質問12で「決めている」と答えた方)

表13-1		n=109	
		件数	
定めていない	26	(23.9%)	
定めている	83	(76.1%)	
合計	109	(100.0%)	

定めている場合は該当するものすべてに○を記入

表13-2		件数	
規則的な睡眠リズム	30	(35.7%)	
精神症状身体症状の安定	59	(70.2%)	
集中力理解力の回復	13	(15.5%)	
体力の回復	57	(67.9%)	
通所復職への意欲	30	(35.7%)	
その他	35	(41.7%)	

(その他)  
 当院利用規則が守れる方  
 ハミルトン7点以下  
 コミュニケーションをとることができる。  
 病名(診断名)  
 1~5を含む評価シート  
 参加同意書

質問14 プログラム受け入れにおいて本人の生活レベルによる条件を定めていますか。  
 (質問12で「決めている」と答えた方)

表14-1		n=109	
		件数	
定めていない	62	(56.9%)	
定めている	47	(43.1%)	
合計	109	(100.0%)	

定めている場合は該当するものすべてに○を記入

表14-2		n=47	
		件数	
半日程度外出できる日が一定日ある	31	(66.0%)	
1日図書館通いができる日が一定日ある	4	(8.5%)	
身だしなみが整ってきた	12	(25.5%)	
食生活のリズムが安定している	12	(25.5%)	
その他	9	(19.1%)	

(その他)  
 週に3日以上デイケア利用が可能であること  
 週3日以上15~18時まで通所できるか  
 通所できる体力、睡眠リズム  
 週3日のリワーク体験をこなせる  
 軽い運動、読書が各々20分程度毎日出来る  
 週3日以上に外出することが可能  
 9:00~11:00図書館で過ごせる 週3日以上  
 昼夜逆転をしていない  
 生活リズムが安定している・睡眠

(半日程度外出できる日が一定日ある)

	件数	
週1日以上	4	(12.9%)
週2日以上	6	(19.4%)
週3日以上	11	(35.5%)
週4日以上	1	(3.2%)
週5日以上	6	(19.4%)
無回答	3	(9.7%)
合計	31	(100.0%)

(1日図書館通いができる日が一定日ある)

	件数	
週2日以上	1	(25.0%)
週3日以上	3	(75.0%)
合計	4	(100.0%)

質問15 プログラム受け入れにおいて除外疾患の条件を定めていますか。  
(質問12で「決めている」と答えた方)

	件数	
定めていない	23	(20.7%)
定めている	88	(79.3%)
合計	111	(100.0%)

定めている場合は該当する疾患すべてに○を記入

	件数	
気分障害以外すべて	14	(15.9%)
双極性障害	5	(5.7%)
アルコール依存症などの物質依存	64	(72.7%)
パーソナリティ障害	46	(52.3%)
発達障害	26	(29.5%)
摂食障害	32	(36.4%)
パニック障害	12	(13.6%)
統合失調症	54	(61.4%)
その他	7	(8.0%)
無回答	1	(1.1%)

(その他)

認知症、MDI-I型、器質性精神障害

器質疾患

神経症

プログラム活動に支障をきたす状態

希死念慮

合併している疾患においては症状の軽快度により受け入れている

アルコール依存症で主治医が当クリニックではない場合→3の場合断酒が2年以下であると除外、2年以上で受け入れ

質問16 プログラム受け入れにおいて勤労状況の条件を定めていますか。  
(質問12で「決めている」と答えた方)

表16-1	n=111	
	件数	
定めていない	24	(21.6%)
定めている	87	(78.4%)
合計	111	(100.0%)

定めている場合は該当するものすべてに○を記入

表16-2	n=87	
	件数	
休職者を受け入れる	83	(95.4%)
失職者を受け入れる	28	(32.2%)
復職者、就労中の者を受け入れる	23	(26.4%)
その他	5	(5.7%)

(その他)

- 復職後の時短勤務者
- リワーク終了し復職後のフォローアップ希望者
- 2の者は原則6M
- 失職者は退職して1年以内且つ勤務経験が3年以上ある
- 復職、再就職への意志がある者

質問17 プログラム受け入れにおいて同一企業内の条件を定めていますか。  
(質問12で「決めている」と答えた方)

表17-1	n=111	
	件数	
定めていない	74	(66.7%)
定めている	37	(33.3%)
合計	111	(100.0%)

定めている場合は該当するもの1つに○を記入

表17-2	n=37	
	件数	
同一企業内の社員は同時期に行わない	4	(10.8%)
同一企業内の社員で同時期で実施する	7	(18.9%)
参加者の意思を確認し参加を決める	25	(67.6%)
その他	1	(2.7%)
合計	37	(100.0%)

(その他)

- 職場へも確認
- 参加者の意思、会社の規定、EAPの契約を鑑みて実施

質問18 プログラム受け入れにおいて主治医の条件を定めていますか。  
(質問12で「決めている」と答えた方)

表18-1		n=112	
		件数	
定めていない		47	(42.0%)
定めている		65	(58.0%)
合計		112	(100.0%)

定めている場合は該当するもの1つに○を記入

表18-2		n=66	
		件数	
主治医変更が必須		20	(30.3%)
原則的に主治医変更、ただし例外あり		20	(30.3%)
利用者の意思に任せる		20	(30.3%)
その他		7	(10.6%)
合計		67	(100.0%)

(その他)

- 休職者のみ(離職者の場合は主治医変更必須)
- 変更せず利用可
- 基本的に主治医は変更しない
- 主治医変更は必要ないが、当院のDr. に月1回の定期受診
- 原則的に主治医は変更しない。
- 利用者／医師、双方の意向を考慮、転院しない方が多い。

質問19 プログラム受け入れにおいて年齢の条件を定めていますか。  
(質問12で「決めている」と答えた方)

表19-1		n=111	
		件数	
定めていない		99	(89.2%)
定めている		12	(10.8%)
合計		111	(100.0%)

定めている場合はその年齢を記入

表19-2		n=12	
		件数	
就労年齢以上		1	(8.3%)
18才以上		2	(16.7%)
18才以上	60才以下	2	(16.7%)
18才以上	65才以下	1	(8.3%)
20才以上		1	(8.3%)
20才以上	59才以下	1	(8.3%)
20才以上	60才以下	1	(8.3%)
	55才以下(離職者は50才以下)	1	(8.3%)
	60才以下	2	(16.7%)
合計		12	(100.0%)